

指定管理者評価に係る合議の概要

施設名	箕面市立介護老人保健施設
指定管理者名	社会福祉法人箕面市社会福祉協議会
開催日	令和7年(2025年)12月17日(水)
開催場所	総合保健福祉センター分館 2階講堂
合議の出席者	箕面市西部地域包括支援センター管理者 安田 知美氏 箕面認知症家族会「びわの会」全並 美知子氏 箕面市居宅介護支援事業所・介護予防支援事業所連絡会 西川 直也氏

【概要】次頁のとおり

内容

令和7年12月17日(水)に総合保健福祉センター分館2階講堂にて、指定管理者の評価に係る合議を実施しました。主な指定管理者の説明及び合議出席者の意見は以下のとおりです。

1)事業の実施状況、アンケートについて

(指定管理者)

事業実施状況について各事業の事業内容及び利用者数の説明を行った。リハビリテーションの充実については、身体的なリハビリと認知機能のリハビリを実施しており、令和5年度より個別リハビリから集団リハビリへ変更した。マルチタスク若返り体操の集団リハビリでは、認知機能の改善がみられ好評いただいている。身体的なリハビリについても個別リハビリメニューを作成し、通所リハビリテーション及びご自宅でも実施いただいている。

行事レクリエーションの充実としては、季節の行事の実施で、秋祭りは令和5年度から再開し、楽しんでいただいている。また、ボランティアの受け入れについても、徐々に再開しており、傾聴ボランティアサークルに利用者のかたのお話を聴いていただいたり、「アフタースクールぴあにしも」(主に発達障害・自閉症を持つ子どもの療育を目的とした児童発達支援・放課後等デイサービス)の子どもたちによる歌や踊りの披露を継続的に年に数回実施している。

人材育成については、外部研修及び毎月の内部研修を実施している。指導力の養成として、看護実習生や教員免許取得の大学生の介護体験の受け入れを行っている。

コロナ等感染対策については適宜おこなっているが、令和6年度は、3度新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生した。

アンケートについては、利用者のご家族へのアンケートを実施しており、Google フォームでも回答できるようにしている。全体の満足度については、「満足」と「ほぼ満足」の合計が91.9%という結果になった。

福祉人材不足について、令和6年10月から外国人のかたを採用し、フロアの職員は現在充足している状況である。利用者からの意見を反映する取組としても、介護職員を増やしてほしいというご意見があったが充足しており、面会の時間、回数を増やしてほしいというご意見については、回数制限や予約制を無くし、30分の時間制限はあるが、居室で自由に面会できるようになっている。

(合議出席者)

地域向けの交流事業について、中学校への車椅子の体験等良い取り組みだと感じている。また、介護度別の施設利用者数の市内と市外の記載があるが、市外については、どこの市からが多いのか教えてほしい。ほか、ボランティアグループ受け入れ状況で「パソコン教室」があるが、どのような状況か教えてほしい。

(指定管理者)

地域向け交流事業については、小学校4年生と中学校1年生の総合学習で福祉体験授業がある。社会福祉協議会でとりまとめ各学校から依頼があるもので、市内の福祉施設及び事業者が関わり実施している。

市外の利用のかたについては、多いのは豊中市で、大阪市内のかたもおられる。ご家族が箕面市内にお住まいのかたが多い。

パソコン教室については、経緯として、以前、大阪大学の先生が研究のために実施していた教室があり、そのボランティアのかたが引き続き教室を実施していたが、パソコンからスマホへの移行や、施設パソコンの耐用年数の超過、ボランティアのかたの人数が減っていることもあり、受講者数、開催が減少している状況である。

(合議出席者)

リハビリテーションの充実について、マルチタスク若返り体操で認知機能の改善が多く見られたとのことで大変良いと思うが、一般向けに実施はしていないのか。あれば良いと感じるので広めていただきたい。また、介護ロボット導入とは、どういう使われかたをしているのか。

(指定管理者)

マルチタスク若返り体操については、市民向けに行っている体操やキャラバンメイトにて認知症の啓発講座は開催しており、マルチタスク若返り体操についても今後、市民向けに検討していきたい。

(合議出席者)

認知症になりたくないと感じているかたはたくさんおられる。ぜひ取り組んでいただきたい。

(指定管理者)

マルチタスク若返り体操について、一般向けにはどのようなものが良いか、リハビリのスタッフと相談しながら講座を開催していきたい。

介護ロボットについては、見守りセンサーを各フロア5台ずつベッドに設置しており、寝ているところから起き上がったり、ベッドから降りようとしているタイミング等で通知されるようになっている。事故を未然に防ぐことや、お部屋で転倒された場合、どういう状況であったか把握することが可能となり、お部屋の環境改善等対応できる。インカムについては、非常に良く職員同士のコミュニケーションがとれるようになった。

(合議出席者)

外国人職員のかたの受け入れについて、業務内容と利用者の反応はどうか。

(指定管理者)

業務内容については、マニュアルを外国人職員のかた向けにわかりやすく細かく作成し、理解度もそれぞれ異なるため、適宜、確認・振り返りを実施している。

利用者からの反応は、外国人職員のかたはとても明るく常に笑顔で元気でスキップも豊かなため、利用者のかたは外国人職員が出勤するのを心待ちにしているし、外国人職員へ、異国から来られて大変ねと思いやりを持たれている様子。実際、利用者の笑顔も増えており、それにより既存職員も良い刺激を受けていると感じる。

(合議出席者)

外国人職員のかたは特別な研修を受けているのか。

(指定管理者)

4名雇用しており特定技能をお持ちのかた。すでに他施設で研修済みで、日本に住み日本語もできるので、施設への馴染みも早かったと感じている。

2)総評

リハビリテーションの充実や、行事レクリエーションの充実等、利用者やご家族の希望に添えるよう創意工夫しながら運営しており、今後も継続的に実施していくべき事業内容であることを確認しました。

アンケートの結果及び合議で出た意見からも、総じて指定管理者として円滑な運営を行っている、市として評価します。

